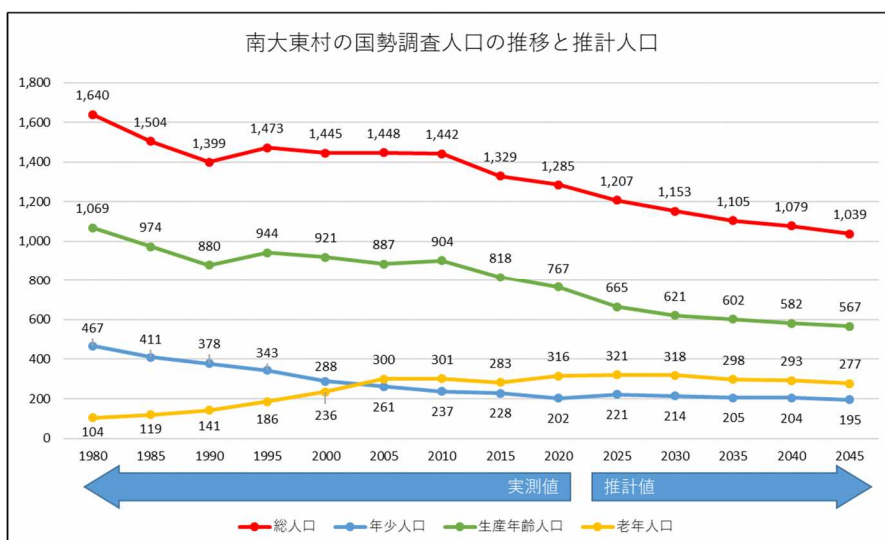


第5章 統計情報

1. 人口推移と推計人口

南大東村の2020年の総人口は1,285人となっており、近年減少傾向にあります。年齢3区分別人口では、生産年齢人口と年少人口が減少し、老年人口が増加しています。2025年以降の推計人口をみると、生産年齢人口の減少が進むとともに、増加傾向にあった高齢人口も減少に転じます。



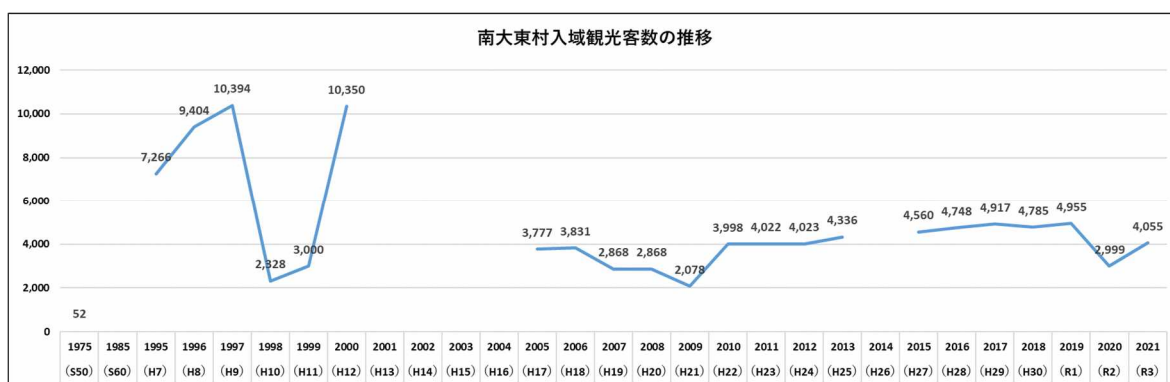
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

2. 入域観光客数の推移

南大東村の近年の入域観光客数の推移は、2010年度以降増加傾向にあり2019年度には4,955人となり5,000人に迫る状況でしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、2020年には2,999人と大幅に減少しました。

単位：人

南大東村	(S50)	(S60)	(H7)	(H8)	(H9)	(H10)	(H11)	(H12)	(H13)	(H14)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)
	1975	1985	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
	52	—	7,266	9,404	10,394	2,328	3,000	10,350	—	—	—	—	3,777	3,831	2,868
	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	
	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
	2,868	2,078	3,998	4,022	4,023	4,336	—	4,560	4,748	4,917	4,785	4,955	2,999	4,055	



※統計データの無い年があるため、データの欠損がある。

資料：離島関係資料

3. 航空輸送実績

			2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
那覇 － 南大東島 線	運行回数	計	1,081	1,097	1,057	1,078	1,073	1,088	1,092	1,064	1,050	1,068	978	1,007	1,056
		往路	519	525	505	513	511	521	521	510	504	505	468	481	503
		復路	562	572	552	565	562	567	571	554	546	563	510	526	553
	旅客数	計	28,692	27,726	30,058	30,855	32,751	30,964	32,862	33,823	32,967	34,824	26,408	27,864	31,239
		往路	13,833	13,413	14,483	14,787	15,614	15,001	15,788	16,354	16,104	16,771	12,753	13,087	14,849
		復路	14,859	14,313	15,575	16,068	17,137	15,963	17,074	17,469	16,863	18,053	13,655	14,777	16,390
	座席数	計	44,843	42,898	46,520	48,301	48,535	47,470	51,674	52,980	52,500	53,400	48,900	50,350	52,750
		往路	21,583	20,552	22,363	23,142	23,273	22,838	24,719	25,490	25,200	25,250	23,400	24,050	25,150
		復路	23,260	22,346	24,157	25,159	25,262	24,632	26,955	27,490	27,300	28,150	25,500	26,300	27,600
	座席 利用率	計	64.0	64.6	64.6	63.9	67.5	65.2	63.6	63.8	62.8	65.2	54.0	55.3	59.2
		往路	64.1	65.3	64.8	63.9	67.1	65.7	63.9	64.2	63.9	66.4	54.5	54.4	59.0
		復路	63.9	64.1	64.5	63.9	67.8	64.8	63.3	63.5	61.8	64.1	53.5	56.2	59.4
南大東島 － 北大東島 線	運行回数	計	356	333	350	357	353	358	366	361	354	352	349	352	353
		往路	155	143	150	152	151	156	158	158	156	147	154	153	151
		復路	201	190	200	205	202	202	208	203	198	205	195	199	202
	旅客数	計	10,144	9,461	10,137	10,284	10,619	10,341	12,196	12,540	11,754	11,548	10,687	11,784	11,686
		往路	4,564	4,277	4,559	4,489	4,654	4,642	5,483	5,716	5,453	5,113	4,909	5,076	5,117
		復路	5,580	5,184	5,578	5,795	5,965	5,699	6,713	6,824	6,301	6,435	5,778	6,708	6,569
	座席数	計	13,845	12,987	13,650	13,923	13,767	13,962	16,782	18,050	17,700	17,600	17,450	17,600	17,650
		往路	6,045	5,577	5,850	5,928	5,889	6,084	7,273	8,000	7,750	7,350	7,700	7,650	7,550
		復路	7,800	7,410	7,800	7,995	7,878	7,878	9,509	10,050	9,950	10,250	9,750	9,950	10,100
	座席 利用率	計	73.3	72.8	74.3	73.9	77.1	74.1	72.7	69.5	66.4	65.6	61.2	67.0	66.2
		往路	75.5	76.7	77.9	75.7	79.0	76.3	75.4	71.5	70.4	69.6	63.8	66.4	67.8
		復路	71.5	70.0	71.5	72.5	75.7	72.3	70.6	67.9	63.3	62.8	59.3	67.4	65.0

資料：航空輸送統計調査
国内定期航空路線別、区間別、月別運航及び輸送実績
国土交通省

4. 島内の移動手段

■一般常用旅客自動車運送事業者数(タクシー・ハイヤー)

令和5年3月末現在

事業区分	法人		個人タクシー
	事業者数	車両数(台)	(1人1車制)
南大東島	1	2	0

(資料)沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和5年版)」

■レンタカー年度別事業者数及び車両数

	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
南大東島	7	7	7	7	8
	34				

※集計方法の変更(増車届出の廃止等)により令和元年度より島毎の車両数は掲載されない。

(資料)沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和5年版)」

5. 種別宿泊施設等

南大東村の宿泊施設の規模は、「ホテル・旅館」が 2 軒、「民宿」が 2 軒、「ペンション・貸別荘」が 1 軒となっており、合計で 5 軒の宿泊施設が立地しています。

収容人数は「ホテル・旅館」が 122 人と多く、宿泊施設全体の収容人数が 168 人であり、「ホテル・旅館」が収容人数の 72.6%を占めています。

令和3年 12 月 31 日現在(単位:軒、室、人)

	ホテル・旅館					民宿					ペンション・貸別荘				
	軒数	客室数			収容人数	軒数	客室数			収容人数	軒数	客室数			収容人数
		和	洋	計			和	洋	計			和	洋	計	
南大東村	2	21	51	72	122	2	0	15	15	32	1	0	7	7	14

(資料)沖縄県「令和3年版観光要覧」

6. ツアー客の村内での支出について

離島観光・交流促進事業(島あっちい)令和 2 年度実施報告書によると、ツアーで訪れた観光客の支出額は、平均値で合計 13,683 円、最大で 37,900 円、最小で 7,300 円となっています。

支出の内容は、お土産代や飲食費の支出額が大きくなっています。

ツアー客を対象としたデータであるため、交通費の支出が 0 円となっていますが、個人で訪れる観光客の場合は、レンタカー代等の支出も必要となります。

		平均値	最大支出額	最小支出額	サンプル数
合計		13,683	37,900	7,300	200
	飲食費	2,638	10,000	0	40
	施設入場料	1,200	2,400	800	40
	交通費	0	0	0	40
	お土産代	4,346	20,000	1,000	40
	自由時間の体験代	5,500	5,500	5,500	40

※表が空欄の場合は、データなし。

※未回答により、母集団との数字のズレが生じる場合がございます。

出典:離島観光・交流促進事業(島あっちい)令和 2 年度実施報告書


第6章 南大東村観光の現状と課題

南大東村観光の現状と課題をアンケート調査やワークショップ、関連計画等から分析し、南大東村の特徴(強み)、問題点(弱み)を抽出して、解決すべき課題を下記のように取りまとめました。

1. 地域資源に関する現状と課題

①陸域の自然環境

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ 星空がきれい。月がない夜空の星空の価値が素晴らしい。○ 星野洞が素晴らしい(日本一！アジア一！)。○ バリバリ岩な迫力ある地形。○ 今の自然環境を残してほしい。○ 沖縄本島とは異なる自然環境。○ 地底湖など地下の資源が魅力。○ 固有の動植物。○ 圧倒的な自然のスケール。○ 人の手の加え方が最小限の「手付かずの自然」が魅力。○ 一度も大陸とつながった事がない。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○希少生物の保護活動、環境保護が必要。○自然環境の保護に関するルールが明確でない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ 自然環境を守りつつ、観光振興に資するに<u>エコツーリズムを推進</u>する必要があります。○ 競争力のある星野洞、地底湖、断崖絶壁など<u>ここにしかない絶景の情報発信</u>が必要です。○ ルールの周知やガイド機能の強化のための <u>IT 技術の活用</u>が必要です。
---------	--

②海域の自然環境

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ コバルトブルーの海がきれい。迫力がある。 ○ 海軍棒プール、塩屋プールと海に面したプールがある。 ○ ダイビングはまだ開拓途中だが、長期滞在にもつながるコンテンツとなりえる。 ○ 陸から大物が狙える釣りのポイントとして知名度がある。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沖縄の海のイメージとは異なり泳げない。 ○ 海軍棒プール塩屋プールでは、海水浴などある程度手軽にできるような周辺環境の整備(トイレ・シャワー)が必要



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ ダイビングや釣りなど海を活用した観光コンテンツ・サービスを強化する必要があります。 ○ 設置場所や維持管理手法を検討した上で、<u>トイレ・シャワー等を設置</u>する必要があります。
---------	---

③農業

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ サトウキビ農業の先進地 ○ サトウキビ畑の景観。 ○ 大型機械による大規模な農業。 ○ かぼちゃ。 ○ サトウキビ産業の歴史的価値。 ○ 青パパイヤ。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路への赤土の流出など景観面での課題。 ○ 農作業の妨げとなる観光客の行動。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ サトウキビ農業の先進地としての視察ツアーの受け入れ態勢をつくる必要があります。 ○ <u>観光業と連携した農業振興</u>を図る必要があります。 ○ <u>観光客の方へのルール・マナーの啓発</u>を行う必要があります。 ○ <u>農業をコンテンツとした観光メニューの開発と受け入れ態勢づくり</u>を行う必要があります。
---------	--

④漁業

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魚が美味しい。 ○ 大東寿し、ナワキリ、ふぎ炒めなど、珍しくておいしいものも多い。 ○ マグロやサワラなどの漁業資源が豊富で人気がある。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海が荒れると、村内の飲食店でも島の魚が食べれない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>観光業と連携した漁業振興</u>を図る必要があります。 ○ <u>周年利用できる漁港及び亀池の船だまり等の環境整備</u>を行う必要があります。
---------	--

⑤生活・文化・歴史

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八丈島から伝わった歴史・文化・言葉。 ○ 大東太鼓、相撲、祭りなどの文化 ○ 沖縄八丈島の文化が混ざり合っていること。 ○ 開拓・製糖の歴史。 ○ 必要最小限のものがそろっているが、余分なものは何もなく手つかずの自然を楽しめる。 ○ 集落には昔っぽさが残っている。 ○ 無人島の開拓の歴史。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ シュガートレインが錆びだらけで保存がなされていない。 ○ シュガートレインの復活に向けた動きが止まっている。




解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>南大東島固有の生活文化や日常風景の価値を再認識</u>する必要があります。 ○ <u>シュガートレインの実現可能な活用方法を再検討</u>する必要があります。
---------	---

2. 受入環境に関する現状と課題

①宿泊施設


特徴(強み)	—
問題点(弱み)	○宿泊施設が古い。 ○クレジットカードが使用できない。 ○宿泊施設で自炊ができない。



解決すべき課題	○ <u>宿泊施設の整備・改修</u> が必要です。
---------	----------------------------

②飲食・買い物

特徴(強み)	○ 大東寿し、ナワキリ、ふぎ炒めなど、珍しくておいしいものも多い。 ○ 意外に自販機が多くて不便しない。ショップが多くて楽しい。
問題点(弱み)	○ 食事をする場所が少ない。 ○ 営業時間の変更や休業など、営業しているかどうか行ってみないと分からない。 ○ 飲食店に関する情報がない。 ○ 休日に食事ができる場所が少ない。 ○ カフェなど一休みできる場所がない。 ○ スーパーの休業情報などなくて困る。



解決すべき課題	○ <u>飲食店・商店の利便性を向上</u> させる必要があります。 ○ <u>観光客が一休みできる場所や、テレワークができる場所</u> (カフェ、休憩場、ワーキングスペースなど)の整備を行う必要があります。
---------	--

③移動手段・交通環境

特徴(強み)	○ 空港・滑走路・機材が小さい。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通が無く、移動手段に限られる。 ○ レンタカー以外の移動手段が必要。 ○ 坂道が多いので、車か電動自転車が必要。 ○ 飛行機の便数・座席数が少なく、かつ運賃も高額なので気軽に行きにくい。 ○ フェリーの欠航が多い。 ○ 北大東島にも合わせていきたいが、移動手段が少なく実現しにくい。 ○ 高低差があるので、平面の地図だと徒歩や自転車で厳しい。 ○ 南北大東を結ぶ空路がなくなる。 ○ 亀池港の船溜まりの整備が必要。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ レンタカー以外の<u>島内交通の仕組みを検討</u>する必要があります。 ○ <u>法制度等を利用した旅客運送の検討</u>を行う必要があります。 ○ 漁船・遊漁船等による<u>南北大東間の安定した渡船の構築を検討</u>する必要があります。
---------	---

④環境・観光インフラ

特徴(強み)	○ ゴルフ場があること。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話・Wi-Fi など電波が入らないところが多い。 ○ 道路への土の流出 ○ 公共のトイレが少ない。 ○ 観光施設等への案内板が少ない、わかりづらい。 ○ 観光施設が少ない。 ○ 日の丸展望台の劣化、通路の利用しにくい状況があります。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置場所や維持管理手法を検討した上で、<u>トイレ・シャワー等を設置</u>する必要があります。 ○ <u>既存観光関連施設を活用・再整備</u>する必要があります。 ○ 全島を一望できる<u>日の丸展望台のバリアフリー化</u>が望まれています。
---------	--

3. 商品・サービスに関する現状と課題

①観光コンテンツ

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ エコツーリズムを推進するための取組みが始まっている。○ ケービングツアーが魅力。○ 星空の魅力。○ ダイビングをする方にはとても魅力的。○ 何もない島ではなく、歴史、文化、多様な発見のある素晴らしい島。○ 釣りの体験プログラムは反響が大きい。○ クルーズ船の受入れを行っていた。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○ 二泊以上だと時間を持て余す。○ ビジターセンターの閉館。○ 大東犬に会いたかった。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ <u>体験を楽しめる企画</u>が必要です。○ <u>徒歩・自転車等での周遊コースの設定</u>が必要です。○ <u>遊漁船によるダイビングや釣りへの取組みの強化</u>が必要です。○ 漁船・遊漁船の稼働を確保するための<u>港の機能強化</u>が必要です。○ <u>亀池港の船溜まりの整備</u>が必要。
---------	---

②特産品・土産品

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ ラム酒(COR COR)がある。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○ 子供向けのお土産が欲しい。○ 南大東島らしいお土産が欲しい○ お土産が少ない。お土産屋さんが少ない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ 生産者が特産品開発やお土産品の開発を行うための<u>不安を解消する仕組みづくり</u>。
---------	--

4. 人材育成に関する現状と課題

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ 島の人々人柄がよい。優しい。あたたかい。○ 島の人々の新設でアットホームな接客が良い。○ ガイドさんが親切でわかりやすい。島の暮らしや歴史なども伝えてくれる。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○ 観光振興に対する島民意識が低い。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ 島まるごとミュージアムとの<u>連携した観光人材教育を継続</u>する必要があります。○ 挨拶など基本的な<u>おもてなしの雰囲気づくり</u>が必要です。
---------	---

5. 情報発信に関する現状と課題

①島外への情報発信

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「島あっちい」「GOTO 南大東」などにより南大東島を体験した方が増えた。 ○ 「おじゃりやれ！南北大東フェア」「離島フェア」などに参加し PR を行っている。 ○ 台風情報などで南大東島の存在は知られている。 ○ 友人や知人・家族の口コミが島を訪れるきっかけとなった方が多い。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島外で得られる島の情報が限られている。 ○ インターネット上にも島の情報が少ない。 ○ 効果を見据えたトップセールスの実施。

解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光の目的地として認知されるよう、<u>継続的な情報発信</u>を行う必要があります。 ○ 村のホームページを更新し、<u>情報発信の強化</u>を行う必要があります。 ○ SNS 等を活用した<u>タイムリーな情報発信</u>を行う必要があります。
---------	---

②島内への情報発信

特徴(強み)	—
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光パンフレットやガイドマップの情報が古い。情報が間違っていることがある。 ○ 悪天候時の海岸の閉鎖情報などが分からない。 ○ 飲食店や商店の営業情報など、島内にいても店の前まで行かないと分からない。

解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>定期的な情報の更新</u>を行っていく必要があります。 ○ 空港や在所など観光客が立ち寄る場所での<u>タイムリーな情報提供</u>を行う必要があります。 ○ <u>観光アプリの導入、ICTの活用による情報発信</u>が必要です。 ○ インバウンドに対応するために<u>多言語(5 か国語)案内板</u>等が必要です。
---------	---

6. 観光振興の推進体制に関する現状と課題

特徴(強み)	<ul style="list-style-type: none">○ 観光協会による観光事業が進められている。○ 商工会によるブランディング事業の実施。○ ガイドさんが親切丁寧でわかりやすい。
問題点(弱み)	<ul style="list-style-type: none">○ 観光の振興について、島内でも温度差がある。○ 観光に来てほしいという心意気を感じられない。○ 推進体制としてまとまりがない。○ 島まるごとミュージアム構想との連携や、継続した取り組みがない。



解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none">○ 「(仮称)島の観光を考える会」のような<u>住民が話し合える場を継続的に開催し、観光振興の機運を高めていく必要があります。</u>○ 地域おこし協力隊などの活用による、<u>観光振興に意欲のある人材の登用が必要です。</u>
---------	---

第7章 南大東村観光振興のビジョン

1. 南大東村観光振興の10年間の目標

心が動く 島が動く 人と自然のふれあい天国 うふあがり島
～観光フロンティア みんなで創る希望の島～

南大東島は、1900年(明治33年)に開拓が始まり砂糖の島として礎を築いてきました。沖縄県内でいち早く大型機械の導入による効率化を図り、現在でも島の基幹産業として大切な役割を担っています。しかし、高齢化の進展や人口減少、担い手不足など農業や地域経済を取り巻く環境は厳しくなっているものと思われます。

そのようななか、南大東村においても持続的な発展を図るためには観光振興による地域活性化を目指すことが効果的であり、雇用の創出や所得の向上などの経済効果を生むだけではなく、村民と国内外観光客との交流による教育的効果や関係人口の増加が期待出来ます。

絶海の孤島である南大東村にしかない自然環境や、島を作ってきたサトウキビを中心とする農業、特異な地形、その中で生まれ育まれてきた島の生活と歴史文化を活かし、村民と観光客との交流の活性化による新たな賑わいを創出し、南大東村でしかできない観光振興を目指します。

■基本方針

南大東村にしかない資源を未来に残しつつ、島全体で観光振興に挑戦します

■コンセプト

何もない？
「絶海の孤島」
「コバルトブルーの海」
「満天の星空」
「見渡す限りのサトウキビ」
「大迫力の地形」
「固有の動植物」
「島の生活と歴史文化」
ここにしかないんです。

■基本戦略

基本戦略 1: ありのままの魅力を活かした観光振興を行います

基本戦略 2: 快適に過ごせる観光地にするために、生活環境・受入環境を整えます

基本戦略 3: 選ばれる島となる情報発信を行います

基本戦略 4: 訪れた方と共に幸せになるために、島を愛する心を育みます

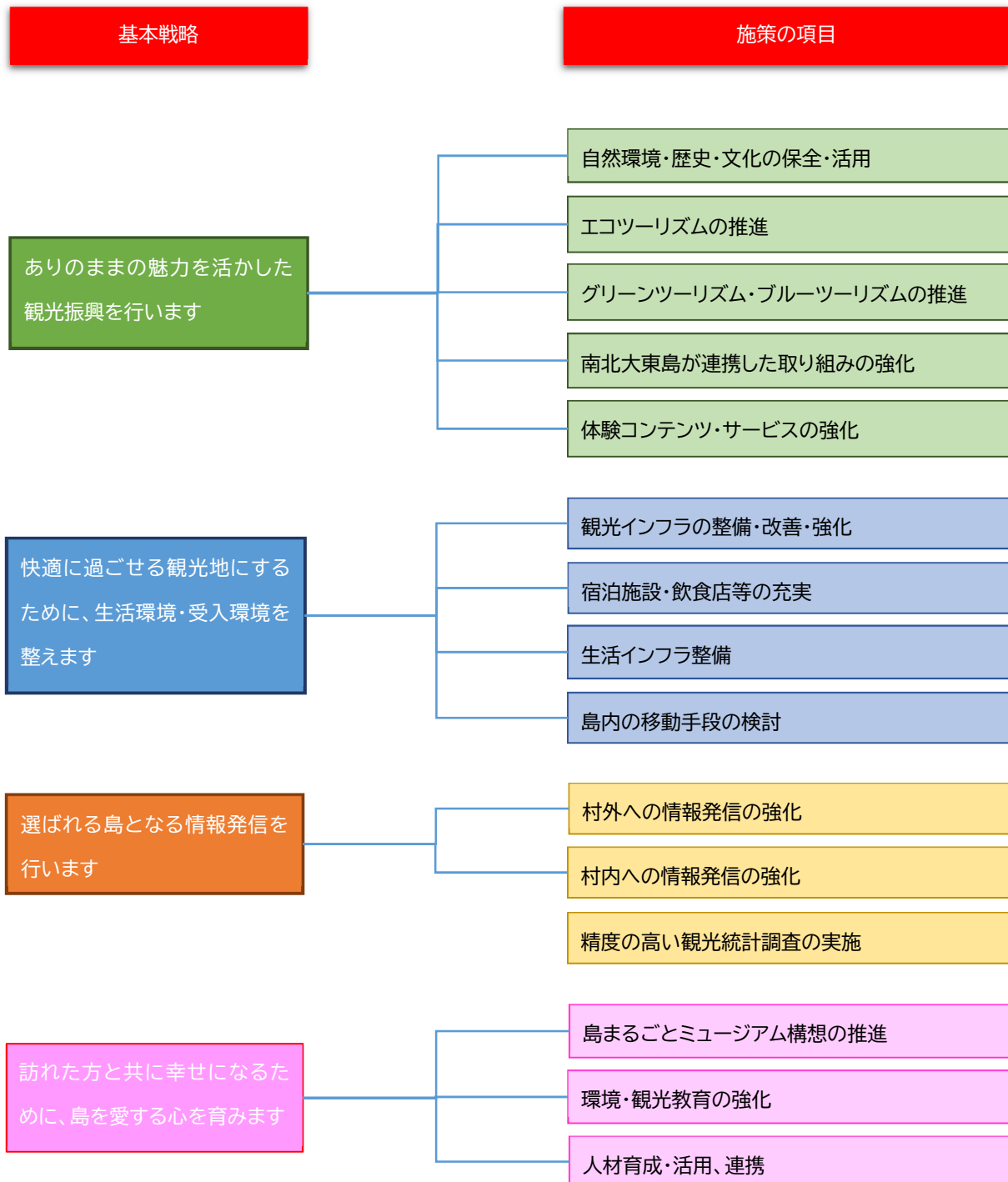
■数値目標

項目	現状値	目標値	把握手法
住民の幸福度	—	90%	・住民アンケートにより把握
来訪者満足度	85% (R6)	90%	・来訪者アンケートにより把握 ・現状値は、R6 年調査、「大変満足した 51.0%」「満足した 34.0%」の合計を採用
島内での観光消費額	13,683 円 (R2)	20,000 円	・来訪者アンケートにより把握 ・現状値は、離島観光・交流促進事業(島あっちい)令和 2 年度実施報告書より
観光客数	4,055 人 (R3)	10,000 人	・村内統計資料により把握

2. 施策の展開

南大東村観光振興の10年間の目標を達成するために取組んでいくことについて、4つの基本戦略、15の施策の項目として体系的に示します。

■施策展開の体系図



3. 具体的な取組

今後 10 年間で実施する具体的な取組を示します。

4 つの施策項目ごとに、今後 10 年で実施する具体的な取り組みを定めました。また、具体的な取り組みの実施を担う担当課や団体等の実施主体も記載しています。

実施時期については、短期(3 年以内)、中期(4 年～6 年以内)、長期(7 年～10 年以内)の実施時期を定め、段階的に進めてまいります。

■表の見方

施策項目	具体的な取組	実施主体	時期		
自然環境の 保全・活用	地域資源として、希少生物の保護・環境保全を行います	産業課	短	中	長
	地底湖利用におけるルール作りと適正利用を図ります	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	特徴的な地形を活用した観光メニューの開発を促進します	産業課・観光協会・事業者	短	中	長

観光振興の 10 年間の目標を達成するために取組んでいく 4 つの施策です。

具体的な取り組みを進める主な主体を記載しています。

4 つの施策を進めるために必要な取り組みを定めています。

短期(3 年以内)、中期(4 年～6 年以内)、長期(7 年～10 年以内)として、実施時期を示しています。

戦略1 ありのままの魅力を活かした観光振興を行います

南大東島はリーディング産業として観光振興を目指します。振興の方向としては、島にしかない「絶海の孤島」「コバルトブルーの深い海」「満天の星空」「見渡す限りのサトウキビ」「大迫力の地形」「固有の動植物」「島の生活と歴史文化」といった、島に来て初めて味わえる(オンサイト)ありのままの観光資源を強みとし、それらを守り育てつつ、南大東島の在り方に共感を持っていただける方々をターゲットとした観光振興を行います。

施策項目	具体的な取組	実施主体	時期		
自然環境の保全・活用	地域資源として、希少生物の保護・環境保全を行います	産業課・教育委員会	短	中	長
	地底湖利用におけるルール作りと適正利用を図ります	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	特徴的な地形を活用した観光メニューの開発を促進します	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
歴史・文化を活かした観光の推進	南大東島を代表する産業遺産であるシュガートレインの活用方法を再検討します	産業課・土木課・観光協会	短	中	長
	南大東島の文化特性について HP や SNS 等を活用し、観光資源として情報発信を行います	産業課・観光協会	短	中	長
	石造りの建物の保存と観光資源としての活用を図ります	産業課・土木課・教育委員会	短	中	長
エコツーリズムの推進	「島まるごとミュージアム構想」と連携したエコツーリズムを推進します	産業課・観光協会・事業者・教育委員会	短	中	長
	南大東村エコツーリズム推進協議会を設立し、エコツーリズム推進構想の認定を目指します	産業課・観光協会	短	中	長
	エコツアー等の企画・実践における自然環境の保護・管理に関するルールの周知を行います	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進	農業・漁業をコンテンツとした観光メニューの開発を促進します	産業課・観光協会・事業者・農家・漁家	短	中	長
	農家・漁家による民泊事業の取組を促進します	産業課・観光協会・事業者・農家・漁家	短	中	長
	観光客へのルール・マナーの啓発を行います	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
南北大東島が連携した取り組みの強化	県内外のイベント等について、南北大東島地域連携を継続的に推進します	産業課・観光協会	短	中	長
	漁船・遊漁船による南北大東間の渡船事業の検討を行います	産業課・漁家・事業者	短	中	長
	南北大東島が連携した定期航路の検討を行います	産業課・港湾業務課	短	中	長
体験コンテンツ・サービスの強化	観光協会と連携した観光メニューの開発への支援を行います	産業課・観光協会	短	中	長
	継続的な観光ガイドの養成を促進します	産業課・観光協会	短	中	長
	民間事業所と連携したツアー企画の創出を行います	産業課・観光協会	短	中	長

戦略2 快適に過ごせる観光地にするために、生活環境・受入環境を整えます

南大東島の住民の生活を豊かにし、観光客には南大東島での滞在時間をもう少し快適な時間にするためには、ある程度の生活環境・受入環境の向上に向けた整備が必要です。

ありのままの南大東島の観光を下支えし、島に滞在する観光客が今より少しだけ快適に過ごすことができるようになることで満足度を高めます。

施策項目	具体的な取組	実施主体			
観光インフラの整備・改善・強化	海軍棒プール・塩屋プール周辺へのトイレやシャワー施設の設置について、維持管理方法の検討も含めて推進します	産業課	短	中	長
	通年で利用できる港湾環境の整備を行います	産業課・土木課・港湾業務課	短	中	長
	立地がわかりにくい観光資源等への案内板の設置やITを活用した案内方法を検討します	産業課・土木課	短	中	長
	南大東観光の安心安全を確保するため、遊泳禁止区域等の明示を行います	産業課・港湾業務課	短	中	長
	日の丸展望台のバリアフリー化を実施します	土木課・産業課	短	中	長
宿泊施設・飲食店等の充実	村商工会と連携した事業者支援を実施します	産業課・村商工会	短	中	長
	宿泊施設・飲食店等が連携した営業店舗の確保等観光客の利便性の向上	産業課・事業者	短	中	長
	島内食材を使った加工商品の開発及び生産体制の構築を支援します	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	島内産品の島内店舗での流通、提供先の拡大を支援します	産業課・村商工会・観光協会・事業者	短	中	長
	「TERIHAオイル」等新たな特産品開発を促進します	産業課・事業者	短	中	長
	観光アプリの導入や、ICTの活用により、観光客の利便性を高めます	産業課・村商工会・観光協会・事業者	短	中	長
生活インフラ整備	歩行空間の安全性の確保や景観へ配慮した管理運営を行います	土木課	短	中	長
	既存施設を活用したワーケーション施設を整備します	産業課・教育委員会	短	中	長
	村内のWi-Fi環境を整備し、通信環境の向上を図ります	産業課	短	中	長
	亀池港の船溜まりを整備し、漁船・遊漁船の利用環境を向上します	土木課・産業課・港湾業務課	短	中	長
島内の移動手段の検討	レンタサイクル事業の強化	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	エコツーリズムやグリーンツーリズム等の法制度を活用した旅客自動車運送の検討	産業課・観光協会・事業者	短	中	長

戦略 3 選ばれる島となる情報発信を行います

選ばれる島であり続けるための効果的な情報発信を行います。

ただし、住民の生活や、今いらしているコアな観光客の方のニーズからも、大々的に島の観光の形を変えてまで宣伝することは誰も望んでいないと考えます。

現状では、島外から島の情報を得られる手段や内容は限られているため、ありのままの南大東島に共感できる方をターゲットにし情報発信を行います。

また、島内においてもリアルタイムな情報把握が難しい状況です。すでにいらしている観光客に対してのリアルタイムな情報発信に努めます。

施策項目	具体的な取組	実施主体			
村外への情報発信の強化	来島して体感しないと得られない南大東島の感動や学びについて、VR 等映像技術を活用して魅力の発信を行います	産業課・観光協会	短	中	長
	村ホームページのリニューアル及び継続的な情報更新を行います	産業課	短	中	長
	SNS 等を利用した情報発信の強化を行います	産業課・観光協会・事業者	短	中	長
	効果を見据えたトップセールスを実施します	産業課・村	短	中	長
	離島フェア等のイベントへの継続的な参加と情報発信を行います	産業課・観光協会・村商工会	短	中	長
村内への情報発信の強化	飲食店や商店の営業情報の集約・発信を、島内主要施設や観光客の集まる場所で提供します	産業課・観光協会・村商工会・観光協会	短	中	長
	ガイドブック・ガイドマップ等の定期的な更新を行います	産業課・観光協会	短	中	長
精度の高い観光統計調査の実施	計画の進捗状況を把握するため、ICT を活用した継続的なアンケートを実施します	産業課	短	中	長

戦略 4 訪れた方と共に幸せになるために、島を愛する心を育みます

南大東村の観光振興の究極の目的は、島に暮らす住民の幸福度が高まることです。

南大東村では、「島まるごとミュージアム構想」が本村の基軸として確立しています。島の住民として我が島の自然文化・歴史等の特徴を見つめ島の「宝」を認識しつつ、みんなが観光客にも分けてあげられるような観光振興の雰囲気づくりを行います。

施策項目	具体的な取組	実施主体			
島まるごとミュージアム構想の推進	本村の基軸である島まるごとミュージアム構想と連携した観光客受入環境づくりを進めます	産業課・教育委員会	短	中	長
環境・観光教育の強化	島全体でのおもてなしの雰囲気づくり	産業課・教育委員会・事業者・住民	短	中	長
人材育成・活用、連携	観光振興について住民が継続的に話し合える場を創出します	産業課・事業者・住民	短	中	長
	観光振興による仕事の創出	産業課・事業者	短	中	長
	関係人口等の島外の人材との連携・活用	産業課・観光協会	短	中	長
	地域おこし協力隊を活用した観光関連プロジェクトの推進	産業課・観光協会	短	中	長

おじゃりやれ うふあがり島観光ビジョン 2024

南大東村観光振興計画

令和 6 年(2024 年)8月

発行:南大東村役場 産業課

〒901-3895

沖縄県島尻郡南大東村字南 144 番地-1

TEL(代表):09802-2-2001 / FAX:09802-2-2669
